

HISTORY

沿革

- | | | |
|-------|-----|---|
| 1949年 | 5月 | 岐阜大学の設置により附属図書館（本館、学芸学部分館、農学部分館）を設置 |
| 1952年 | 4月 | 工学部分館を設置 |
| 1961年 | 10月 | 農学部分館と工学部分館を統合し、農・工学部分館へ |
| 1965年 | 4月 | 医学部分館を設置 |
| 1969年 | 4月 | 教育学部分館を長良分館に、農・工学部分館を那加分館に改称 |
| 1982年 | 3月 | 岐阜大学の統合移転により、本館及び那加分館、長良分館を統合し附属図書館本館（鉄筋3階建6,385㎡）を建設 |
| 1994年 | 6月 | 事務組織の改組（部課制となる） |
| 2004年 | 3月 | 医学部の移転に伴い医学部分館を廃止 |
| 2004年 | 4月 | 附属図書館を、図書館に改称 事務組織の改組（学術情報部となる） |
| 2007年 | 6月 | 医学図書館を設置 |
| 2010年 | 4月 | 事務組織の改組（学術国際部となる） |
| 2014年 | 6月 | 図書館増築・改修竣工 |
| 2015年 | 4月 | 事務組織の改組（情報部となる） |

COLLECTION

大型コレクション

ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション

ウェブスター辞書として刊行されている1806年の初版本から1943年までに刊行された辞書の異版100点、108冊の英語辞書コレクション。

静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成

静嘉堂文庫の蔵書の内、松井簡治博士の旧蔵書を中心にした江戸時代から明治初期にかけての国語学関係の写本・版本・活字本（明治時代）472部、769冊のマイクロフィルム版。

静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成

静嘉堂文庫の蔵書の内、和歌および連歌俳諧、狂歌川柳関係の古典籍資料1,333点（3,192冊）余のマイクロフィルム版。

大東急記念文庫所蔵江戸文学総覧

江戸期の板本の中より厳選された江戸文学878点、1,530冊の原本のマイクロフィルム版。

大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総覧

古物語、説話物語、歴史物語、軍記物語、随筆、日記・紀行の古字、古版の特別書を中心とした物語文学95点、695冊のマイクロフィルム版。

環境問題研究コレクション

アメリカ、イギリス、ドイツを中心として、世界各地で刊行された環境問題研究の学術文献で雑誌19点、叢書26点、図書200冊のコレクション。

明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌完全復刻版コレクション

明治・大正・昭和三代にわたる教育実践報告、教育時事問題、教育世論の動向、教育界内外の広範な教育事象等を報じた教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション。

Landolt-Börnstein 数値表 第1群 原子核・素粒子物理学

自然科学分野における著名な数値表。原子核・素粒子物理学に関する最新データを収録した第1群の13巻

特別資料

貴重書

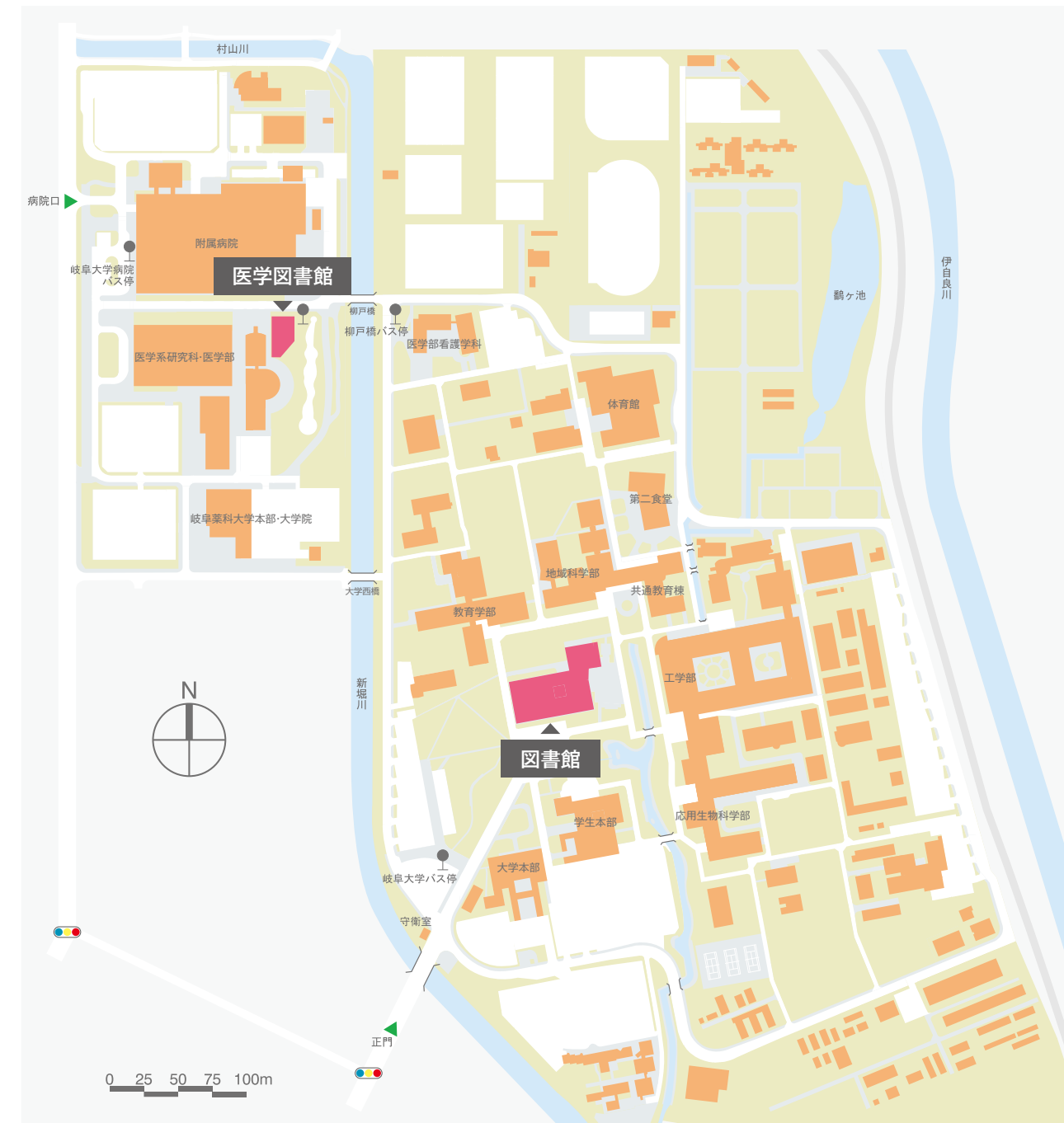
本学の前身である岐阜師範学校、岐阜高等農林学校、県立医科大学当時に収集された江戸、明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約1,500点を特別資料庫に収蔵。



特別資料／奈良絵本「小しきふ」2冊（寛文頃）
紫式部、和泉式部、小式部「三代の物語」

CAMPUS MAP

キャンパスマップ



岐阜大学図書館

2018年発行

編集・発行 岐阜大学図書館

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL. 058-293-2184

FAX. 058-293-2194

GIFU UNIVERSITY LIBRARY

岐阜大学図書館

MESSAGE

岐阜大学図書館館長
野々村 修一



図書館によこそ。図書館長の野々村です。
皆さんは図書館をどの様に捉えていますか。当然、本を読むことが好きな人は、図書館を静かで、心が安らぐ憩いの場と捉えていると思います。小学校、中学、高校には図書館（室）があり、県立や市立の図書館も利用されたと思います。岐阜大学図書館にも多くの蔵書があります。また、ご存知のように、図書には電子図書も含まれるようになり、紙媒体から通信技術の進歩による電子データに移行することにより膨大な「情報の共有」が可能となりました。図書館が一翼を担ってきているわけです。
古代メソポタミアの時代には、遺跡から文字が刻まれた粘土板が出土しています。ここにも「情報の保存と利用」を目的とした機能が見られます。情報を保存し、現在および未来の人々がこの知識（情報）を利用できることとなります。また、マケドニアの時代には、世界最古の図書館といわれるアレクサンドリア図書館がありました。パピルス紙を利用した写本等により、70万巻の蔵

書を誇っていたことは有名です。文学、地理学、数学、天文学、医学等のあらゆる分野の書物が網羅されて学術研究にも大きな役割を果たし、その後に続く西洋科学にも大きく貢献しています。地球の直径を計測したエラトステネス等の著名な学者は、この図書館で研究したとのことでした。
最新の研究成果をまとめた論文や電子ジャーナル誌も多くあり、過去の研究成果を後進の研究者が見ることができます。つまり大昔から脈々と継がれている知識の「保存」と「利用」、まさしく情報の共有、知の蓄積とその利用により科学技術等の高度化を効率的に図るという重要な役割を図書館が担ってきたわけです。皆さんは、これから学部にて自分の専門分野の基礎を学び、大学院ではその知識を研究に利用し、さらに新しい知を生み出し、その知識を論文等に残す作業を行うこととなります。あたかもバトンリレーのように。この様な視点でも図書館を見ていただき、有効に活用していただきたいと思います。

FLOOR GUIDE

フロアガイド

閲覧コーナー

洋書
和書
今西文庫・林文庫・早野文庫
大型コレクション

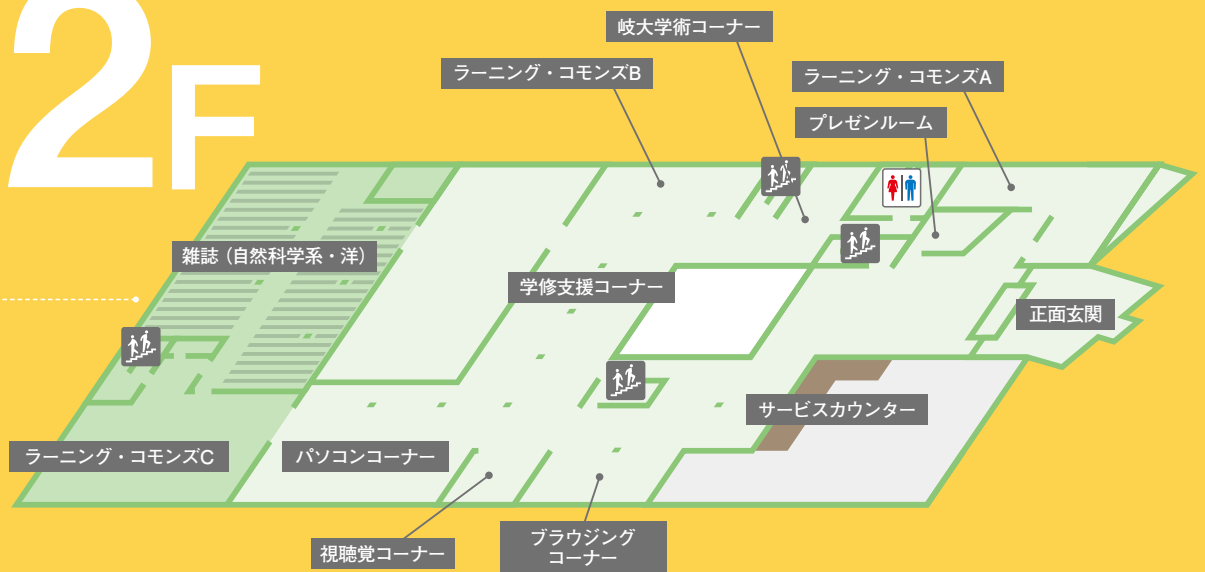
3F



ラーニング・commons A,B,C
プレゼンルーム
パソコンコーナー
視聴覚コーナー
ブラウジングコーナー

雑誌（自然科学系・洋）
学修支援コーナー
岐大学術コーナー

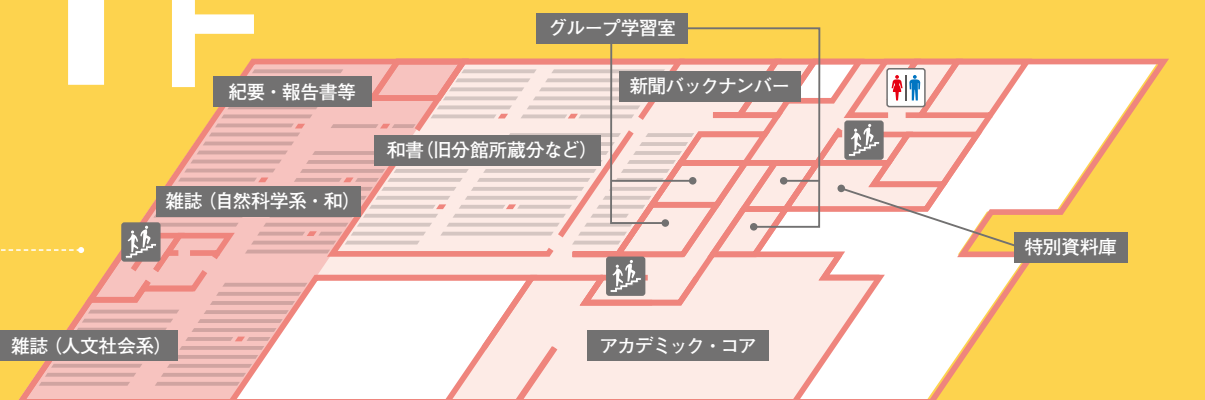
2F



アカデミック・コア
グループ学習室

雑誌（自然科学系・和）
雑誌（人文社会系）
紀要・報告書等
和書（旧分館所蔵分など）
特別資料庫
新聞バックナンバー

1F



上下：電動集密書庫



閲覧コーナー



ラーニング・commons



上下：図書の企画展示



玄関ホールからロビーをのぞむ



ブラウジングコーナー



上：パソコンコーナー 下：閲覧席